

新国立劇場 2019/2020 シーズンオペラ

プッチーニ

ラ・ボエーム

La Bohème

2020年1月24日(金)~2月2日(日)

会場:新国立劇場オペラパレス 好評発売中



2016年公演より

パリの屋根裏に灯った恋。美しくも儂い、永遠のラブストーリー

19世紀パリを舞台に、詩人ロドルフォとお針子ミミの儂い愛、そして明日の成功を夢見る若き芸術家たちの貧しくも自由な生活を描いた青春オペラ。甘美な旋律がとびきりロマンティックな物語を紡ぐ、永遠のラブストーリーです。

パリの町を俯瞰するような栗園淳演出の豪華で繊細な舞台が、愛と喪失の物語を映画のように描き出し、深い感動を誘います。

スター・ソプラノのマチャイゼが新国立劇場デビュー！辻井亜季穂らフレッシュな歌手に注目

圧巻の美貌と表現力、豊かな声を持つスター・ソプラノ、ニーノ・マチャイゼが新国立劇場初登場！叙情的で質感のある声はミミにぴったりと、大野和士芸術監督も太鼓判です。世界的スターの日本デビューは、絶対に見逃すわけにはいきません。

ムゼッタに出演する辻井亜季穂はドイツのヴュルツブルク歌劇場専属歌手として活躍し、現地のファンも多い若手ソプラノ。新進テノールのリップラ充実の歌手陣に加え、名匠カリニャーニが指揮する贅沢な布陣です。

＜資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ＞

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

美しくも儚い永遠のラブストーリー。日本人の〈好きなオペラ〉ランキング 1 位！

19 世紀パリを舞台に、詩人ロドルフォとお針子ミミの純愛、そして明日の成功を夢見る若き芸術家たちの貧しくも自由な生活を描いた青春オペラ。プッチーニならではの甘美な音楽がとびきりロマンティックな物語を紡ぎ出します。

クリスマス・イブのパリ、詩人ロドルフォが独り仕事をしていると、隣人のミミが灯りの火を貰いに現れ、二人はたちまち恋に落ちる。カルチェ・ラタンで恋を謳歌する若者たち。2月の雪の日、ロドルフォ



永遠のラブストーリーとして不動の人気を誇る『ラ・ボエーム』は、かつて「音楽の友」誌の読者アンケート投票でも、“好きなオペラ”堂々のナンバーワンを獲得しました。夢を追ひ懸命に生きる若者たちの物語は、いつの時代も感動を呼び続けています。世界中で愛される『ラ・ボエーム』は、初めてのオペラ鑑賞にもお勧めです。

は病のミミを救うため別れを決意。やがてミミが瀕死の状態です。屋根裏部屋に運び込まれる――。

「冷たき手を」「私の名はミミ」の名アリアによって綴られる第1幕のロドルフォとミミの出会いのシーンは、数あるオペラのラブシーンの中でも最も美しい決定的名場面。華やかなパリ、カルチェ・ラタンの賑わいを描いた第2幕、雪の降りしきる中、別れを決意した恋人たちの美しくも悲しい四重唱、そして涙を禁じえないラストシーンと、見どころは枚挙にいとまがありません。パリの町を俯瞰するような粟國淳の繊細な演出は、若者たちの夢と挫折の世界を対比し、感動を誘います。



スター・ソプラノのマチャイゼが新国立劇場デビュー！ 充実の歌手陣のアンサンブルを名匠カリニャーニが指揮

圧巻の美貌と表現力、豊かな声で称賛を集めるソプラノ、ニーノ・マチャイゼが新国立劇場初登場。叙情的で独特の質感のある豊かな声はミミにぴったりと、大野和士芸術監督も太鼓判です。ミラノ・スカラ座が生んだスター、マチャイゼはザルツブルク音楽祭へのセンセーショナルなデビューで世界的注目を集めて以来、世界一流歌劇場を席卷。ハイセンスな世界的セレブリティであり、ファッションアイコンとしても絶大な信頼を獲得しています。日本デビューとなる今回、何を置いても絶対に見逃すわけにいきません。



ムゼッタに出演する辻井亜季穂はドイツのヴェルツブルク歌劇場専属歌手として活躍。以前在籍していたテューリンゲン州立劇場では、聴衆の投票で選ばれるテアターオスカー賞に2年連続で輝くなど、現地のファンも多い若手ソプラノです。新進テノールのリップ、ベルカントで活躍するカッシ、そしてドイツで活躍を続ける松位浩ら充実の歌手陣が青春群像劇を繰り広げます。引き締まった演奏で日本のファンも多い名匠カリニャーニが指揮を務めるという贅沢な布陣です。

<「ラ・ボエーム」あらすじ>

【第1幕】若き詩人ロドルフォ、画家マルチェッロ、音楽家ショナール、哲学者コッリーネは、成功を夢見て、パリの屋根裏部屋で暮らしている。薪も買えず、原稿を燃やして暖を取るほど貧しいが、クリスマス・イブの今日はショナールが手にした稼ぎでディナーへ出かける。ロドルフォだけ急ぎの原稿を仕上げるため部屋に残ると、隣の部屋に住むお針子ミミが火を分けてほしいとやってくる。ミミは火をもらって帰ろうとしたとき鍵を落としたことに気づく。その火の消えた闇の中、2人で鍵を探すうちに手が触れ合い、恋に落ちる。

【第2幕】カフェ・モミュスで仲間と合流したロドルフォはミミを紹介する。そこへマルチェッロの元恋人ムゼッタが、新しいパトロンのお爺さんアルチンドロとやってくる。マルチェッロの気を引くためムゼッタはわざと大げさに振る舞うが、マルチェッロは無視。しかし、ついには体よくアルチンドロを追い払い、2人はめでたくよりを戻す。

【第3幕】雪降る夜明け。ロドルフォの態度に悩むミミは、マルチェッロの働く酒場へ向かう。店にはロドルフォがいて、マルチェッロに語り出す。自分の稼ぎでは病のミミの治療代を払えない、だからミミが離れるようわざと冷たく当たっているのだと。ミミは身を引く決意をする。マルチェッロはムゼッタの浮気を疑いけんか別れする。

【第4幕】仲間との生活に戻ったロドルフォとマルチェッロは元恋人に想いを馳せて仕事はかどらない。ショナールとコッリーネと共に騒いでいると、ムゼッタが瀕死のミミを連れてくる。皆で所持品を質に入れて薬代にしようとするが、時すでに遅く、ミミは望み通りロドルフォの側で息を引き取る。

<主要キャスト・スタッフプロフィール>

【指揮】パオロ・カリニャーニ

Paolo CARIGNANI

イタリア・ミラノ生まれ。ジュゼッペ・ヴェルディ音楽院で作曲、オルガン、ピアノを学ぶ。イタリアをはじめウィーン国立歌劇場、ベルリン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、バイエルン州立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、リセウ大劇場、英国ロイヤルオペラ、パリ・オペラ座など世界各地で活躍。1999年から2008年までフランクフルト歌劇場の音楽総監督およびフランクフルト・ムゼウム管弦楽団の音楽監督を務めた。コンサートでは、ミュンヘン・フィル、ウィーン放送響、読売日本交響楽団などに客演しており、来日も多い。最近では、ミラノ・スカラ座『アリババと40人の盗賊』、バイエルン州立歌劇場『シチリアの晩鐘』『仮面舞踏会』『リゴレット』、ウィーン国立歌劇場『ナブッコ』『シモン・ボッカネグラ』、ベルギー王立モネ劇場『ラ・ジョコンダ』、ハンブルク州立歌劇場『ナブッコ』『オテロ』、カナディアン・オペラ・カンパニー『ラ・ボエーム』、フランダース・オペラ『マクベス』、ベルリン・ドイツ・オペラ『運命の力』などを指揮。今後の予定に、オペラ・オーストラリア『ロベルト・デヴェリュー』、バイエルン州立歌劇場『西部の娘』『ナブッコ』、ミラノ・スカラ座『ランスへの旅』などがある。新国立劇場では13年『ナブッコ』、17年『オテロ』、18年『アイダ』を指揮。



【演出】栗國 淳

AGUNI Jun

東京生まれローマ育ち。ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院でヴァイオリンと指揮法を学ぶ。オペラの演技・演出法をM.ゴヴォーニに師事。新国立劇場ではF.ゼッフィレッリ、L.ロンコーニなど巨匠達の演出助手を務めた。1998年から文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊、H.ブロックハウス氏のもとで研鑽を積んだ後、P.ファッジョーニ、A.ファッシーニなどの片腕としてヨーロッパを拠点に活躍。97年藤原歌劇団公演『愛の妙薬』で演出家デビュー。びわ湖ホール、二期会、神奈川県民共同制作『トゥーランドット』『アイダ』『オテロ』、東京二期会『仮面舞踏会』、あいちトリエンナーレ『ホフマン物語』、藤原歌劇団『ファルスタッフ』『ノルマ』、日生劇場オペラ『アイナダマール』（日本初演）、紀尾井ホールバロックオペラ『オリンピーアデ』など多数の作品を手掛ける。海外ではサッサリ・ヴェルディ劇場『アンドレア・シェニエ』『エルナーニ』、スロベニア国立マリボール歌劇場『ホフマン物語』を演出している。11年度エクソンモービル音楽奨励賞を受賞。新国立劇場では『ラ・ボエーム』『セビリアの理髪師』『おさん』『フィレンツェの悲劇/ジャンニ・スキッキ』、小劇場オペラ『外套』を演出。現在、日生劇場芸術参与、新国立劇場オペラ研修所演出主任講師。



【ミミ】ニーノ・マチャイゼ

Nino MACHAIDZE

ジョージア出身。ミラノ・スカラ座アカデミー修了後、2007年に『連隊の娘』マリーでスカラ座にデビュー、ローマ歌劇場にも同役でデビューし国際的キャリアがスタート。08年夏にはザルツブルク音楽祭に新制作『ロメオとジュリエット』ジュリエットでセンセーショナルなデビューを飾った。その後、ハンブルク州立歌劇場、ロサンゼルス・オペラ、メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座、ウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルギー王立モネ劇場、ミラノ・スカラ座、ロッシーニ・オペラ・フェスティバル、ヴェローナ野外音楽祭などで『ルチア』タイトルロール、『愛の妙薬』アディーナ、『ラ・ボエーム』ムゼッタ、ミミ、『椿姫』ヴィオレッタ、『ランスへの旅』フォルビル伯爵夫人などに出演。18/19シーズンはシャンゼリゼ劇場とウィーン国立歌劇場で『マノン』タイトルロール、ハンブルク州立歌劇場、ザルツブルク音楽祭『ルイザ・ミラー』、オランダ国立オペラ『セビリアの理髪師』ロジーナなどに出演。19/20シーズンはフランクフルト『オテロ』デズデーモナに出演したほか、リエージュのワロニー歌劇場『夢遊病の女』アミーナ、北京・国家大劇院『ファウスト』マルグリート、ナポリ・サン・カルロ歌劇場『椿姫』ヴィオレッタに出演予定。新国立劇場初登場。



【ロドルフォ】マッテオ・リッピ

Matteo LIPPI

ジェノヴァ生まれの新進テノール。トリノのアルファテアトロで『ヴェネツィアの一夜』『こうもり』『フラ・ディアヴォロ』などに出演。奨学金を得てモデナのベルカント・アカデミーに加わり、ミレッラ・フレニーのもとで学ぶ。2013年トーティ・ダル・モンテ国際コンクールに優勝、トレヴィーゾ、フェッラーラなどで『ラ・ボエーム』ロドルフォに出演しデビュー。14年にフェニーチェ歌劇場、ボリショイ劇場に新制作『ラ・ボエーム』でデビューした。15年にはフェニーチェ歌劇場で『椿姫』アルフレードにデビュー。ナポリ・サン・カルロ歌劇場、ローマ・カラカラ浴場、ギリシャ国立歌劇場、カリアリ歌劇場、ウェルシュ・ナショナル・オペラ、フェニーチェ歌劇場などで『ラ・ボエーム』ロドルフォ、フィレンツェ歌劇場『椿姫』アルフレード、グラインドボーン音楽祭『蝶々夫人』ピンカートン、ホランドパーク・オペラ『つばめ』ルッジェーロなどに次々に登場している。最近では、ノルウェー国立オペラ、フェニーチェ歌劇場、フィレンツェ歌劇場『椿姫』アルフレード、モデナ歌劇場『妖精ヴィトリ』、バレンシア・ソフィア王妃芸術宮殿、フィレンツェ歌劇場『蝶々夫人』ピンカートン、ヴェローナ歌劇場『ラ・ボエーム』ロドルフォ、グラインドボーン音楽祭『リゴレット』マントヴァ公爵などに出演。今後の予定に、デンマーク王立歌劇場、フェニーチェ歌劇場『椿姫』などがある。新国立劇場初登場。



【マルチェッロ】マリオ・カッシ**Mario CASSI**

イタリア出身。トーティ・ダル・モンテ、ヴィオッティ・コンクールなどの国際コンクールに入賞。ベルカントを中心にモーツァルトから現代音楽までをレパートリーとし、現代曲の世界初演への出演も多い。これまでに、ウィーン国立歌劇場、ローマ歌劇場、ナポリ・サン・カルロ歌劇場、ミラノ・スカラ座、パリ・オペラ座、バイエルン州立歌劇場、フィレンツェ歌劇場などで『ドン・パスクワレ』マラテスタ、『セビリアの理髪師』フィガロ、『チェネレントラ』ダンディエーニ、『フィガロの結婚』フィガロ、『道化師』シルヴィオ、『愛の妙薬』ベルコーレ、『ルチア』エンリーコなどに出演。最近では、トリエステ歌劇場、モンテカルロ歌劇場『セビリアの理髪師』、イスラエル・オペラ、キャリア歌劇場『ルチア』、ザクセン州立歌劇場『コジ・ファン・トゥッテ』、フィレンツェ歌劇場、ウィーン国立歌劇場『愛の妙薬』ベルコーレなどに出演。ベルギー王立ワロニー歌劇場に定期的に登場、『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールなど数多く出演している。18/19 シーズンはワロニー歌劇場で『イル・トロヴァトーレ』『清教徒』『蝶々夫人』、トリエステ歌劇場『清教徒』リッカルド、ライン・ドイツ・オペラ『ドン・パスクワレ』、パルマ王立歌劇場、北京国家大劇院『セビリアの理髪師』フィガロ、ヴェローナ野外音楽祭『アイダ』アモナズロに出演した。19/20 シーズンはワロニー歌劇場、ヴェローナ歌劇場『蝶々夫人』、国家大劇院『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵に出演している。新国立劇場初登場。

**【ムゼッタ】辻井亜季穂****TSUJII Akiho**

愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士前期課程を首席で修了後、DAAD 給費留学生として2011年に渡独、ライプツィヒ音楽演劇大学にてマスターの学位を取得し、ワイマール音楽大学付属テューリンゲン州オペラ研修所に所属。14年～17年テューリンゲン州立劇場(アルテンブルク/ゲラ)専属歌手として『ばらの騎士』ゾフィー、『ラ・ボエーム』ムゼッタ、『リゴレット』ジルダ、『魔弾の射手』エンヒェン、『ドン・パスクワレ』ノリーナなど様々な作品に出演。聴衆の投票で選ばれるテアターオスカー賞を2年連続受賞。16年、愛知県立芸術大学創立50周年記念オペラ『ラ・ボエーム』ムゼッタに出演。17年よりヴェルツブルク歌劇場専属歌手となり『コジ・ファン・トゥッテ』デスピーナ、『セビリアの理髪師』ベルタ、『ニクソン・イン・チャイナ』江青夫人などに出演。18/19 シーズンは、『ラ・ボエーム』ムゼッタ、『ナクソス島のアリアドネ』ツェルビネッタ、『神々の黄昏』ヴォークリンデ、『ヘンゼルとグレーテル』グレーテルなどに出演。ライプツィヒ歌劇場、ザクセン州立歌劇場、ドルトムント歌劇場、エアフルト歌劇場、ワイマール国民劇場、ベルリン・ドイツ・オペラにも客演している。新国立劇場初登場。

**【ショナール】森口賢二****MORIGUCHI Kenji**

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。第35回日伊声楽コンクール入選。第68回日本音楽コンクール声楽部門入選。第22回飯塚新人音楽コンクール第1位。2001年～03年、06年～07年イタリアに留学。第36回ローマフェスティバル2007国際コンクール第1位。これまでに『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、『リゴレット』タイトルロール、『ラ・ボエーム』マルチェッロ、『カルメン』エスカミーリョなどに出演。藤原歌劇団では『ランスへの旅』トロンボノク男爵、『ラ・ボエーム』ショナール、『愛の妙薬』ベルコーレ、『セビリアの理髪師』フィガロ、『オレイ伯爵』ランポー、『ファルスタッフ』フォード、『椿姫』ジェルモン、『仮面舞踏会』レナート、『ドン・パスクワレ』マラテスタ、『道化師』シルヴィオなどを演じている。新国立劇場では『マノン・レスコー』海軍司令官、『ウェルテル』ジョアン、『ラ・ボエーム』ショナール、『ホフマン物語』シュレーミルに出演している。藤原歌劇団団員。

**【コッリーネ】松位 浩****MATSUI Hiroshi**

大阪音楽大学・同大学大学院、ベルリン芸術大学に学ぶ。1996年からザールラント州立劇場ザールブリュッケン首席バス歌手。2002年にはザルツブルク祝祭劇場『トリスタンとイゾルデ』マルケ王に出演。『ドン・カルロ』フィリッポ二世、『ラ・ボエーム』コッリーネなど歌い演じた役の数は100を超える。10年びわ湖ホール『トリスタンとイゾルデ』マルケ王は存在感のある歌唱で好評を博した。新国立劇場では『さまよえるオランダ人』ダーラント、『魔笛』ザラストロ、『オテロ』ロドヴィーコ、『フィガロの結婚』バルトロ、『運命の力』ガルドニア神父、『ラ・ボエーム』コッリーネに出演。大阪音楽大学客員教授。



新国立劇場 2019/2020 シーズンオペラ
 ジャコモ・プッチーニ
ラ・ボエーム
 Giacomo PUCCINI / La Bohème
 全4幕〈イタリア語上演／日本語及び英語字幕付〉

【公演日程】2020年1月24日(金)18:30/26日(日)14:00/28日(火)14:00/31日(金)18:30/2月2日(日)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】S:24,200円・A:19,800円・B:13,200円・C:7,700円・D:4,400円・Z:1,650円

【前売開始】2019年9月21日(土)

指揮	パオロ・カリニャーニ	ミミ	ニーノ・マチャイゼ
Conductor	Paolo CARIGNANI	Mimi	Nino MACHAIDZE
演出	粟國 淳	ロドルフォ	マッテオ・リッピ
Production	AGUNI Jun	Rodolfo	Matteo LIPPI
美術	パスクアーレ・グロッシ	マルチェットロ	マリオ・カッシ
Set Design	Pasquale GROSSI	Marcello	Mario CASSI
衣裳	アレッサンドロ・チャンマルーギ	ムゼッタ	辻井亜季穂
Costume Design	Alessandro CIAMMARUGHI	Musetta	TSUJII Akiho
照明	笠原俊幸	ショナール	森口賢二
Lighting Design	KASAHARA Toshiyuki	Schaunard	MORIGUCHI Kenji
舞台監督	大仁田雅彦	コッリーネ	松位 浩
Stage Manager	ONITA Masahiko	Colline	MATSUI Hiroshi
		ベノア	鹿野由之
		Benoit	SHIKANO Yoshiyuki
		アルチンドロ	晴 雅彦
		Alcindoro	HARE Masahiko
		パルピニョール	寺田宗永
		Parpignol	TERADA Munenaga

合唱指揮	三澤洋史
Chorus Master	MISAWA Hirofumi
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
管弦楽	東京交響楽団
Orchestra	Tokyo Symphony Orchestra

芸術監督

大野和士	
Artistic Director	ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/laboheme/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

* 2席 1,620円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引、高齢者割引、障害者割引、学生割引など各種割引あり。*未就学児入場不可。

新国立劇場 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp> 東京都渋谷区本町1-1-1 京王新線新宿駅より1駅、初台駅直結。

本公演は、レパートリー演目です。宣材として過去の上演の舞台写真をご使用いただけます。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



【10】



【11】



【12】